

受験生 料金表 (10月入学)

受験生通学部 学費について ※すべて税抜表示です。

受験Ⅰ科 (高3生対象)

週12時間で通学

p.17 参照 (七条・北大路・彦根ともに同じ料金です)

木金 + 日 or 土 + 日で通学

入学金	20,000円
授業料 前期(14週)	144,500円
設備管理費 前期	10,000円
授業料 後期(10週)	103,300円
設備管理費 後期	10,000円
合計	133,300円
▼継続/推薦入学 入学金免除	-20,000円
割引適用後 合計	113,300円

<お支払い方法>

A 一括納入

合計	133,300円
▲継続/推薦入学 入学金免除	-20,000円
割引適用後 合計	113,300円

※途中入学の場合は、授業料は月毎、設備管理費は学期毎で再計算いたします。

受験Ⅱ科 (高3生対象)

週18時間で通学

p.18 参照 (七条・北大路・彦根ともに同じ料金です)

木金 + 土 + 日で通学

入学金	20,000円
授業料 前期(14週)	216,750円
設備管理費 前期	10,000円
授業料 後期(10週)	154,900円
設備管理費 後期	10,000円
合計	184,900円
▼継続/推薦入学 入学金免除	-20,000円
割引適用後 合計	164,900円

<お支払い方法>

A 一括納入

合計	184,900円
▲継続/推薦入学 入学金免除	-20,000円
割引適用後 合計	164,900円

※途中入学の場合は、授業料は月毎、設備管理費は学期毎で再計算いたします。

受験Ⅲ科 (高3生対象) (デッサンのみ)

週6時間で通学

p.19 参照 (七条・北大路・彦根ともに同じ料金です)

木金 or 土で通学

入学金	20,000円
授業料 前期(14週)	72,250円
設備管理費 前期	10,000円
授業料 後期(10週)	51,700円
設備管理費 後期	10,000円
合計	81,700円
▼継続/推薦入学 入学金免除	-20,000円
割引適用後 合計	61,700円

<お支払い方法>

A 一括納入

合計	81,700円
▲継続/推薦入学 入学金免除	-20,000円
割引適用後 合計	61,700円

※途中入学の場合は、授業料は月毎、設備管理費は学期毎で再計算いたします。

美術系高校受験科 (中3生対象)

週6時間で通学

p.23,24 参照 (七条・北大路・彦根ともに同じ料金です)

木金 or 土 or 日で通学

入学金	10,000円
授業料 前期(14週)	67,200円
設備管理費 前期	5,000円
授業料 後期(10週)	48,000円
設備管理費 後期	5,000円
合計	63,000円
▼継続/推薦入学 入学金免除	-10,000円
割引適用後 合計	53,000円

<お支払い方法>

A 一括納入

合計	63,000円
▲継続/推薦入学 入学金免除	-10,000円
割引適用後 合計	53,000円

※途中入学の場合は、授業料は月毎、設備管理費は学期毎で再計算いたします。

■ 特典・割引一覧

特待生制度 (対象:高卒生、新高3生)

2018年3月春期講習内、本学実施『特待生選抜試験』において特待生および奨学生と認定された方は、認定書に基づき授業料の一部(最大半額)を減免いたします。(口座振込にて後日返金)

※ 詳細は春期講習パンフレットをご覧ください。

※ **2018/4/4(水) 17:00までに入学願書要提出**

早期申込特典 (対象:通学部、通信部 全コース)

※ **2018/3/18(日)までに入学願書要提出**

※ **NET通信実技コースは、2018/4/10(火)までに入学願書要提出**

上記期限までに入学願書をご提出いただいた方は、本学で利用できる「画材購入券」3,000円分を進呈します。

交通費補助制度 (対象:通学部全コース)

本学通学交通費定期代が月額20,000円(税込)を超える場合、1割を補助いたします。

本学発行「通学費補助申請書」に定期券コピーを添えてご提出ください。

※毎月末日までの提出で翌月15日以降に支給いたします。

※たとえば4月28日にご提出の場合、5月15日以降となります。

※本学は公共の交通機関「通学定期」発行対象外です。

入学金免除 (対象:通学部、通信部 全コース)

◎ **継続入学 入学金免除**

2017-18通学生、NET通信生は入学金を免除します。

◎ **推薦入学 入学金免除**

入学願書下部「入学推薦書」のご提出により入学金を免除します。



よくある質問はこちら →

国の教育ローン (問合せtel. 0570-008-656)

京都アートスクールの学費などの資金に対して『国の教育ローン』を利用することができます。詳しくは最寄の日本政策金融公庫へお問い合わせください。